

日々の学習がテスト対策になるように！

2023.5.13(土)

まず，“現実”を直視しよう！

学校の課題プリントもすべて”解けるように”した。
指定参考書のテスト範囲もすべて”解けるように”した。
準備万端でテストに臨んだ。
7割はいけたかな…
答案が返ってきた。
48点！
いつものとおりだ！
”ショック！”

課題プリントと同じ問題はすべて解けている。
問題のしくみは同じだが、数字がすこし面倒な問題は半分しかできなかった。
条件が新しく加わった問題はすべて解けなかった。

数学を苦手としている人の典型例です。

つきなみですが、勉強のしかたがまずくはないですか？

- (1) ”解けるようにした”とありますが、解けるようになったことを確認しましたか。
単に、解き方が”分かった”だけではないですか。
つまり、解答書を見て、解き方が理解できただけではなかったのですか。
テスト範囲の問題をランダムに解いて、解けることを確認しましたか。
- (2) 出題範囲の問題の「問題パターン管理」ができていましたか。つまり、テスト範囲の問題には、どんな解法パターンの問題があり得るのかをリストアップしましたか。
つまり、どんな解法パターンの問題が解ければいいのかという一覧表を作っていましたか。
それをもとに「解法パターン別問題練習」とその後の「ランダム問題練習」をやりましたか。
- (3) テスト範囲で、学校で学習した問題以外の問題や少しレベルの高い問題を解く練習をしましたか。
具体的には、教科書の節末問題です。
あるいは、青チャートでいえば、コンパス3個か4個の問題、あるいは重要例題です。
- (4) テスト後対策はやっていますか。
終わったことをくよくよしても何も得るところはありません。
そうではなくて、今、同じテストを受験したら100点取れる力を付ける勉強をすることで未来につながる学力を身につけることができます。

単なるテストの間違い直しではなく、間違った問題を完全に解けるようになるまで練習し、もう一度同じテストを解いてみます。

100点が取れるまで、この練習を繰り返します。

(詳しくは後述)

塾を利用するのが効率的かつ効果的です

これら(1)～(4)の学習をひとりでやりきるのは、実は、たいへんなことです。

そこで、学習塾があります。

数専ゼミでは、上の(1)～(4)のすべての指導をします。

日々の学習をテスト対策の学習に！ 数専ゼミの日々の学習指導

解法パターン別問題演習による応用力強化

数専ゼミでは、ひとりではできない①解法パターン別問題演習と②応用力錬成問題演習を中心にやります。”演習”ですから、先生が教え込むのではなく、生徒が資料を使って学びとるのを先生が指導をするという形の授業で、まったくの個人指導になります。

テスト範囲ではあるが、課題プリントや参考書にはない問題を解く練習をします。

テストで9割を得点することをめざします。つまり、あと”42点分”を塾でかせぎます。

ただ、これらの問題のランダムドリルは、塾では時間がとれないので自宅学習になります。

「ランダムドリル問題集」は塾で作成し、無料で提供します。

各単元では、どんな解法タイプの問題が解ければいいのかについては、それぞれの単元の「学習計画書」にリストアップしてあります。

例題、チェック問題、演習問題もすべてリストアップしてあります。これを見れば、その単元で学習すべき内容の全体が俯瞰できます。

「学習計画書」のサンプルは数専ゼミのホームページで、いくつかの単元についてご覧になれます。

解けないを”つぶす”指導

解けなかった問題は、次回の塾の授業でもう一度解きます。

同じ問題ですので、一切の資料を見ないで解きます。

この部分だけが学力を高める唯一の勉強になります。

「解けない」を「解ける」に変えるわけですから、その分確実に学力は上がります。

家で、解けるなるまで練習してることが原則です。

問題の解法パターン別に、解けたか解けないかの記録をとります。これらは「学習計画書」に、解いたすべての問題について記録されます。

だから、これを見ると、学力の現在の到達点が変わり、今この学習した範囲でテストを受験したら何点を取れるかが予測ができます。

すべての解法パターンの問題が解けるようになることを目指します。

「学習計画書」の学習記録のサンプルは数専ゼミのホームページで、いくつかの単元についてご覧になれます。

解き方が理解できない問題の処理

課題プリントや参考書で、問題の解説が載っていますが、それを読んでも解き方が理解できないというのはよくあることです。

数専ゼミでは、そのようなときは、FAXやスマホを使って、塾のない日でも質問し、指導を受けることができます。（曜日や時間の制限はありません。24時間いつでも質問できます。）

回答は、数専ゼミのホームページ上に掲載します。

質問のしかたや回答の見方についての詳しい説明は：

→Link | [Special_Menu](#) FAX・スマホを使った質問指導 |

このようにするのは、

塾の授業では、応用力をつけるための問題演習が重要であり、質問のために塾の貴重な時間をとることは”もったいない”からです。

また、教えてもらうよりも学びとる方が学力が確実に身につくからです。

質問はすべて無料です。

”論理”で学ぶ英語

Every day I tennis play.

英語の学習法は、これがなぜいけないのか、という疑問から始まります。

うそみたいな話ですが、中学1年生でこのように書く生徒はけっこうおります。

何の違和感もなく、ごく自然に書きます。

日本語の語順ですから、このフレーズは心安らぐのですね。

I play tennis every day.

と書いている生徒も、

I visit to Tokyo every year.

と平然と書きます。さらに、

I enjoy to play tennis.

I bought the book to his.

さらに、さらに、

Do you know what is the cat eating?

と書いて平然と答案を提出します。

え!?

どこがちがうかって?

そういうあなたも”パターンプラクティス”の丸暗記で英語を学んだ”お仲間”ですね。

まず、大前提です。

英語は、母国語外言語であるという事実からスタートします。

24時間英語で生活しているなら別ですが、週に数時間しか英語にふれない生活です。だから、英語を母国語としている人達と同じ方法で英語を勉強しても英語が使えるようにはなりません。英語をいっぱい聞いて発音しても、“ニューヨークタイムズ”を読めるようにはなりません。結局、英文の仕組みを使って英文を理解し、自分の考えを英文で表現するしか”手”はないのです。

数学でいえば、“等式の性質”を使って方程式を解くようなものです。等式の性質は方程式の”文法”です。

この英文の仕組みのことを“英文法”といいます。英文法というのは英検などの4択問題で答えを1つ選ぶ学習だと思っている人が多くおりますが、そうではなく、

5文型、動詞の変化、時制(現在、過去、進行形、完了形等々)の変化、不定詞と動名詞、受け身、接続詞、関係代名詞と関係副詞、仮定法や話法、

など、語と語、句と句、文と文などの関係における単語の変化や語句を並べるルールなどを学ぶのが文法の学習なのです。

最終目標は、

- ・長い英文を日本語を介さないで素速くその正しい意味を読み取る力をつけることと
- ・自分の考えを相手に正しく伝わる英文で表現することができる力をつけることです。

当然、これが数専ゼミの英語の指導方針になります

無料体験学習から始めてはどうか

実際は、どのようなお勉強をするのかなあ?

心配ですね。だから、まず、実際の授業を受けてみて下さい。

「これは自分合った学習法だ!」と思ったら続けて下さい。

もちろん、「これは自分には合わない」という人も出てきます。

万人に適する学習法など決してありません。

だから、数専ゼミでは、体験授業を受講する人の個人情報(お名前、学校、住所、電話番号等々)はいっさいお聞きしません。ただ、学習してみてください。



日々の学習がテスト対策になる数専ゼミの学習指導